

平成17年度事業計画

国内試合関係

下記の大会試合の実施

1. 第47回Y C & A C セブンズ
4月3日 場所：横浜市 Y C & A C
2. 第6回全国高等学校選抜大会
4月1日～7日 場所：埼玉 熊谷ラグビー場
3. ジャパンセブンズ高校の部
4月9日 場所：東京 江戸川陸上競技場
4. ジャパンラグビートップリーグ
リーグ戦 9月17日～平成18年1月7日
8トーナメント戦
1回戦・準決勝 平成18年1月22・29日
決勝 平成18年2月5日
場所：関東・関西・九州（三地域内）
5. 第60回国民体育大会秋季大会
10月23日～27日
場所：岡山 美作町ラグビー・サッカー場
6. 第18回女子ラグビー交流大会
11月23日 場所：東京 江戸川陸上競技場
7. 第4回東西学生クラブ対抗試合
12月中旬 場所：大阪 近鉄花園ラグビー場
8. 第42回全国大学選手権大会
12月18日～平成18年1月8日
準決勝 平成18年1月2日 国立競技場
決勝 平成18年1月8日 国立競技場
場所：関東・関西・九州（三地域内）
9. 第85回全国高等学校大会
12月27日～平成18年1月7日
場所：大阪 近鉄花園ラグビー場
10. 第13回全国クラブ大会
1～2回戦 平成18年1月8日～9日
場所：東京又は福岡
決勝 平成18年1月29日
場所：東京 秩父宮ラグビー場
11. 第56回全国地区対抗大学大会
平成18年1月2日・4日・6日
場所：愛知 瑞穂ラグビー場
12. 第36回全国高等専門学校大会
平成18年1月4日～8日
場所：兵庫 神戸ユニバー記念競技場
13. 第11回全国ジュニア・ラグビー大会
平成18年1月4日・6日
場所：大阪 近鉄花園ラグビー場
14. 第29回全国高等学校東西対抗試合
平成18年1月19日 場所：大阪（予定）
15. 第60回東西学生対抗試合（大学オールスター）
平成18年1月19日 場所：大阪（予定）

16. 第43回日本選手権
平成18年2月・4日・12日・19日・26日
場所：東京・大阪
17. 三地域対抗試合（三地域協会代表）
平成18年2月
九州代表 - 関東代表 場所：関東地区
関西代表 - 九州代表 場所：鹿児島
関東代表 - 関西代表 場所：大阪地区
18. 第55回朝日招待ラグビー
平成18年3月12日
場所：福岡：博多の森
19. 全国小学生タグ・ラグビー選手権大会
時期：平成18年3月
場所：東京 秩父宮ラグビー場

国際試合関係

1. U19世界選手権（12チーム参加）
3月27日～4月12日 南アフリカ（ダーバン）
2. 日本代表・ウルグアイ・アルゼンチン遠征
4月1日～4月25日
4月16日 日本代表 対 ウルグアイ
4月23日 日本代表 対 アルゼンチン
3. ニュージーランド学生選抜来日
4月24日 日本A代表（大阪・長居第2）
4月27日 日本B代表（東京・秩父宮）
5月1日 日本学生代表（東京・秩父宮）
4. ワールド・ラグビユース - 交流大会
4月29日～5月5日
場所：福岡 宗像市・グローバルアリーナ
5. RWC 2007アジア地区予選：日本・韓国・香港
5月8日 日本 対 香港（東京・秩父宮）
5月15日 日本 対 韓国（韓国）兼日韓定期戦
5月22日 韓国 対 香港（香港）
6. 第7回日韓定期戦
5月15日 日本 対 韓国（韓国）兼アジア予選
7. スーパーカップ2005
5月25日 1回戦 2試合（ナイター）
カナダ対アメリカ 日本対ルーマニア
場所：東京 国立競技場
5月29日 3位決定戦・決勝戦
3位決定戦 敗者
決勝戦 勝者
場所：東京 秩父宮ラグビー場
8. アイルランド代表来日
6月12日 第1戦 テストマッチ
場所：大阪・長居陸上競技場
6月19日 第2戦 テストマッチ
場所：東京・秩父宮ラグビー場

9. 女子RWCアジア予選
6月 開催国 タイ
10. 高校日本代表 オーストラリア遠征
7月下旬～8月上旬(2週間)
11. 第13回 日・韓・中 ジュニア交流競技大会
8月23日～29日 場所：札幌
12. 第2回デフ(聴覚障害者)ラグビー世界大会
8月27日～9月10日
場所：ウェールズ(カーディフ)
13. 日英学生対抗戦2005(ケンブリッジ大学来日)
第1戦・9月10日 第2戦・9月14日
第3戦・9月18日
対戦相手は昨年大学選手権上位4チームから選ぶ
14. ポルトガル代表来日(11月・予定)
15. 2011W杯招致関係
5月13日 W杯日本招致申請書の提出
6月 W杯委員会日本視察
11月中旬 I R B 理事会にて開催国の決定

(財)日本体育協会関係

日本体育協会の事業計画は次の通りであり、当協会はこれに協力する。

1. 国民スポーツの普及・振興に関する事業
国民スポーツ振興の推進と体制強化
スポーツ指導者養成事業の推進
スポーツ少年団の充実
生涯スポーツの推進
国際交流事業等の実施
国民体育大会の開催とブロック大会への助成等
スポーツ医・科学研究の推進
スポーツコーチサミットの開催
広報活動の充実
スポーツ情報システムの充実
子どもの体力向上推進事業
地域子ども教室推進事業
関連事業の推進
2. 財政の確立
3. 第60回岡山国体への参加
4. 評議員会への出席
5. 国体運営専門部会への出席

(財)日本オリンピック委員会関係

1. JOCの事業計画は次の通りであり、当協会はこれに協力する。
 - ・選手を育成・強化する事業
 - ・強化合宿事業
 - ・アンチドーピング活動推進事業
 - ・オリンピックムーブメントを推進する事業
2. 次の事業に助成を申請する。
 - ・高校日本代表夏季強化合宿
 - ・アンチドーピング事業
3. 評議員会・総務委員会への参加。

(独)日本スポーツ振興センター関係

1. 日本スポーツ振興センターの次の事業に協力する。
 - スポーツ施設の運営・提供に関する事項
 - ・大規模スポーツ施設における稼働日数の確保
国立競技場・秩父宮ラグビー場
 - ・スポーツ施設利用者の利便性の向上
 - ・スポーツ施設の活用の促進
 - 国際競技力向上のための研究・支援事業
 - ・一体的な事業の実施
 - ・連携による競技力向上プロジェクトチーム型研究・総合的支援活動の実施
 - ・研究成果および収集情報の提供
 - スポーツ振興のための助成に関する事項
 - ・効果的な助成の実施
 - ・助成申請者の利便性の向上
 - ・スポーツ振興助成のための安定的な財源の確保
 - スポーツ及び児童生徒等も健康の保持増進に関する調査研究並びに資料の収集及び提供等に関する事項
 - 関係団体等との連携
 - その他業務運営に関する事項
 - ・危機管理体制等の整備
災害時等緊急時に即応可能な体制整備を行うとともに、予防点検や予防訓練を実施し、防災対策を推進するなど危機管理の維持・充実に努める。
 - 施設及び執務環境の整備
 - ・スポーツ施設の保守・改修
2. 次の事業に助成を申請する。
 - ・アンチドーピング事業
 - ・トップリーグ活性化事業
 - ・高校代表強化事業
3. 運営委員会への参加

各委員会関係

1. 総務委員会
次の重点事項は次の通りである。
 1. 地域協会との連携・強化に関する事項の推進
 2. 所管施設(ジャパクラブ、電光表示装置、練習グラウンド等)の効率的な運用を図る
 3. 施設・用具・人工芝等に関する検討・答申を行う
 4. 各委員会の業務内容の調整、答申を行う
 5. その他の委員会に属さない事項
2. 法務委員会
次の業務を実施する。
 1. W杯招致活動活性化に伴い諸契約のレビューを可能な限り委員で行う
 2. 契約関連紛争の再発防止のための協会内規則策

- 定要請
3. 肖像権関連規定の見直し
 4. スポーツ仲裁機構の有効活用方法の検討
 5. その他必要事項
3. **財務委員会**
協会財務の健全化を目指して、本年度は次の重点事項に取り組む。
1. 収支の実行管理強化と対策の推進
月次収支実績管理強の徹底、問題点の把握化
資金収支見通しの作成と対策
収支の実行状況について理事会等への報告、助言
事務局強化についての支援、助言
 2. 中期的な財政課題の検討、推進
収入面での改善策の検討、推進
支出面での効果確認・評価・推進
三地域協会との負担関係適正化
 3. 予算策定プロセスの改善
本年度予算策定時の課題事項のフォロー
次年度予算作成方針の明確化
各委員会事業計画・予算案のヒヤリングと調整
 4. 監査部門との連携、協力
 5. 各委員会の事業およびW杯招致へ向けた支援と協力
4. **広報委員会**
1. 事業方針
 - ・ラグビー関係者、選手、ファンなどラグビーに関わる全ての人々と円滑な関係を構築し、ラグビーの普及振興とその健全な発達を図る
 - ・2011年W杯日本招致の広報活動
 2. 事業活動全般
2011年W杯招致実行委員会との連携による招致活動の推進
トップリーグ・全国大学選手権・日本選手権など協会が主催する大会を通じて事業方針の展開を図る
強化委員会との連携により各世代（各カテゴリー）の日本代表を軸にした活動の推進
各委員会との連携を密にして活動の推進
費用対効果の再検討と新しい活動の推進
 3. 実施項目
メディアリレーション(パブリシティ業務全般)
記者会見の企画・運営・報道資料の作成・リリース・個別インタビューのアレンジ等
カスタマーリレーションズ(顧客向け業務全般)
ファン拡大・観客増に向けた取り組み・共催者と各種イベント運営等
コミュニティリレーションズ(地域交流業務全般)
地域・公的機関への協力・自治体活動への参加協力支援等

- サイバーリレーションズ(ITベースのPR業務全般)
ホームページ運営管理・メンテナンス・現状の再検討と新しい展開の検討実施・各種デジタルコンテンツの開発等
インナーリレーションズ(関係者業務全般)
各委員会との連携・地域協会など諸団体とのリレーション活動・機関誌発行・HP活用の推進等
リスクマネジメント(危機管理業務全般)
危機管理予防策・初期対応・マニュアル作成・勉強会など研修会の実施・連絡体作り・重症事故対策等
4. 具体的活動計画
機関誌
誌面の充実により、購買者数の増加を図る
イベント
・広くラグビーを普及させるために、共催者との連携によるイベントの開催
ホームページ
・リアルタイム情報を提供する・情報量を増加
・危機管理の徹底
記録管理の継続
文化伝承活動
・散逸または整理のできてない資料の整理
W杯招致広報活動の展開
メディア対応
・記者会見を実施
・プレスリリースをタイミングよく大量に配布
・関係者との連携を密にするように意見交換会などの開催
・報道用スペース、機器などの充実を図るよう働き掛けを行う
各種出版
・ラグビー関係の出版物の整理を行う
強化広報
・代表チーム等と緊密な関係をつくり、情報の価値を高める、積極的な広報活動を図りメディアへの露出を高める
プログラム
・プログラムについては事業委員会と連動して作成・拡販
5. **ルール委員会**
1. 重点目標
IRBルール改正への適切な対応と、新ルールの適正な運用促進
ラグビーの日本における正しい発展を目指し、IRBへルール改正の提言・実現
ルールとレフリングのギャップ解消
ルールの分かりやすい説明・啓蒙
ルール関連情報、規定集のデータベースマネジメント

2. 実施計画

4月

- ・ I R B 改正ルール of 当年度詳細内容につき最終確認
- ・ 試験的実施ルールに関しては、国内実施につき日本協会理事会にて決定

4～6月

- ・ I R B 新ルールの翻訳及び日本協会競技規則化対応
- ・ 競技に関する規定集の改正部分翻訳
- ・ 上記諸規則の英文、和文のデータベース化

6月

- ・ トップチーム監督コーチ会議・レフリー全国委員長会議等で新ルール、規定につき説明、問題点の確認

7～8月

- ・ 日本協会競技規則の作成・出版
- ・ 機関誌・関連委員会会議等にて、競技規則及び競技に関する規定につき説明
- ・ I R B 理事国からの次年度ルール改正提案集に対する日本協会としての見解集約・回答

9月～10月

- ・ 新ルールの適正な運用の為、関連委員会と調整、周知徹底の促進

10月

- ・ I R B へ次年度ルール改正の日本協会意見の提案

11月

- ・ I R B からの次年度ルール改正提案回答集の検討
- ・ I R B 当年度改正ルールの追加分の翻訳並びに日本協会競技規則化対応

1月

- ・ I R B 理事国から次年度ルール改正提案集に対する日本協会としての見解集約・回答

6. レフリー委員会

1. トップレフリー研修活動

春季・秋季研修会：関東・関西・九州にて開催
・ 5月～6月・9月～10月

チーム13春季研修

(春季オープン戦・招待試合等)

トップチーム・コーチ会議へ出席(7月・東京)

春季トップレフリー研修会(7月末)

トップレフリー実技研修会(8月・北海道他)

三地域トップレフリー研修会(8月19日～22日)

トップレフリー研修会(8月26日～29日)

チーム13チーム・コーチ合同会議(9月・10月)

チーム13定例研修会(9月～2月)

全国大会前トップレフリー研修

(12月3日・4日)

全国高校大会A2レフリー研修会(12月)

レフリー反省会(3月)

2. 地域レフリー研修会の支援

研修資料の統一(I R B マニュアルの活用)

講師派遣

3. レフリーアカデミーの新設

- ・ 若手有望レフリーを年間通じて研修を実施し、トップレフリーの養成

4. ナショナルレフリーの海外遠征

U19 RWC(3月25日～4月19日・南アフリカ)

RWC 2007 アジア予選

(5月15日・韓国・5月22日・香港)

豪州協会レフリー交流会

NZ協会レフリー研修会

スリランカセブンズ

ゲームズ10人制大会

アジアU19大会

日韓定期戦交流

その他必要時

5. 海外レフリー受け入れ

ワールド・ワールドユース交流大会

(4月末～5月初・福岡・宗像市)

RWC 2007 アジア予選(5月8日・東京)

トップリーグ関係

その他必要時

6. アセッサー・レフリーコーチ活動

春期・秋季研修会への派遣

三地域トップレフリー研修会への派遣

レフリーアカデミー研修への講師派遣

アセッサー・レフリーコーチ研修会

(8月・2月)

コーチトレーナー講習会(4月～5月)

シーズン反省会(3月)

サッカー協会合同研修会へ派遣

その他

7. 評価・ランキング・試合割り当て

A2候補リスト作成(6月末)

A2ランクレフリー決定

平成17年シーズンレフリー割り当て(7月)

シーズンレフリー割り当て修正(10月)

秋季中間評価まとめ(11月)

全国大会レフリー割り当て(11月)

シーズン評価集計報告、次年度レフリーランク

案の答申(2月)

その他

8. 出版・広報

新ルール伝達講習会

(三地域別で開催6月～7月)

機関誌定期掲載(年間5回)

協会ホームページへ情報提供

各種マニュアル整備

メディア向け説明会

その他必要事項

9. 会議関係
 レフリー委員会（4月・2月）
 総務会（年10回）
 運営委員会（10月・12月）
 三地域委員長会議（年6回）
 トップコーチ運営会議・セカンド・トップチームコーチ会議
 トップリーグ運営会議・各種全国大会代表者会議
 その他必要事項
7. 国体委員会
 1. 平成17年度第60回国体開催に関する打ち合わせ
 ・岡山県国体実行委員会・美作町国体実行委員会
 ・関西ラグビー協会・岡山県ラグビー協会
 2. 平成18年度以降の国体開催県との打ち合わせ
 兵庫県（18年度） 秋田県（19年度）
 大分県（20年度） 新潟県（21年度）
 3. 平成23年度国体開催予定（山口県）競技場視察
 4. 国体委員会開催
 ・出場チーム数削減に伴うブロックの割り振りについて
 ・その他
 5. 平成17年度第60回国体関係（岡山県）
 組み合わせ抽選会
 ・平成17年9月22日（木） 12:00
 ・日本ラグビー協会 会議室
 代表者会議
 ・平成17年10月21日（金） 14:00
 ・美作町民体育館 サブアリーナ
 開始式
 ・平成17年10月22日（土） 17:00
 ・美作町民体育館 メインアリーナ
 表彰式
 ・平成17年10月27日（木） 12:20
 ・岡山県美作ラグビー・サッカー場 主競技場
 6. 意見交換会
 ・平成17年10月26日（水） 18:00
8. 社会人委員会
 1. トップリーグを除く社会人ラグビーを発展させるための諸施策の実施
 2. 三地域協会と協力して試合運営を円滑に進める諸政策の実施および社会人チームの強化・普及のための活動
 3. 観客動員のための活動
 4. その他必要事項
9. 大学委員会
 1. 大学ラグビーを発展させるための諸施策の実施
 全国地区対抗大学大会の開催
 大学チームの強化・普及のための活動
- 観客動員のための活動
 その他必要事項
10. 高等学校委員会
 1. 委員会の開催
 専門部全国会議・年2回（4月・12月）
 小委員会を必要に応じて開催する。
 高等学校委員会・年2回（10月・1月）
 ・強化合宿との視察
 2. 事業計画
 全国高体連関係
 ・合同チームブロック大会の充実を図る
 ・ブロック普及・強化体制の整備を図る
 ・合同チームでの15人制ラグビーやジャパンセブンズ選手選考および強化指導を通じて充実させる
 大会関係
 ・第6回全国高等学校選抜大会
 4月1日～7日 場所：熊谷ラグビー場
 ・ジャパンセブンズ高校の部
 4月9日 場所：江戸川陸上競技場
 ・2005ワールドラグビーユース交流大会
 4月29日～5月5日 場所：福岡 宗像市
 ・第60回国民体育大会に参加
 10月23日～27日 場所：岡山県 美作町
 ・第85回全国高等学校大会兼全国高等学校総合体育大会
 12月27日～平成18年1月7日
 場所：近鉄花園ラグビー場
 ・第36回全国高等専門学校大会
 平成18年1月 場所：兵庫 神戸
 ・第29回高等学校東西対抗試合
 平成18年1月 場所：東京又は大阪
 ・全国高等学校合同チーム大会(新設・検討中)
 3. 強化指導
 高校日本代表選手の選抜及び遠征、強化合宿実施
 セレクション合宿、強化合宿・直前合宿の計画
 第29回高校東西対抗戦の実施
 4. 普及指導
 第26回普及指導講習会の実施
 合同選抜チーム大会開催検討
 場所：北海道夕張市
 ・都道府県選抜の合同チームがブロックごとに参加する大会を実施し、優秀な選手を選び、ジャパンセブンズ大会にもブロック代表を派遣する
 ・ブロックの指導体制、選手発掘のセレクター育成も図る
 5. 第30回高等学校指導者研修会
 ・高校東西対抗戦に併せて高校ラグビーの強化・普及指導はじめ諸課題について全国の高

校指導者が集い研究協議：平成18年1月

6. 高校海外交流
高校日本代表海外遠征
7月～8月 場所：オーストラリア
第13回日・韓・中ジュニア交流競技大会
8月23日～29日 場所：札幌
7. 高校ルール検討
・スクラムなど国内特別ルール等の検討
8. 安全対策
・平成16年度事故の検証および安全対策の徹底
9. その他
・全国高校大会地区決勝戦テレビ放映のための活動

11. クラブ委員会

1. クラブ大会の開催
第13回全国クラブ大会
1～2回戦 平成18年1月7日～9日
決 勝 平成18年1月29日
場 所：未定
参加数：8チーム（関東3・関西3・九州2）
優勝チームは日本選手権への出場権を得る
学生クラブ東西交流フェスティバル IN 菅平
9月2日～4日
場 所：菅平サニアパーク・他
参加数：40チーム（予定）
・菅平合宿の時期をとらえ、学生ラグビーの振興と普及を目的とした大会とする
・学生実行委員会を組織し、学生自身が主体的に関わり大会作りを目指す
・学生向けのレフリー講習会、スキルアップ講習会なども組み込む
・女子学生のためのタグ・ラグビー教室を開催し女性もラグビーを楽しむ環境を提供する
第4回東西学生クラブ対抗試合（12月）
場 所：近鉄花園ラグビー場
・関東・関西 学生クラブ選手権大会のそれぞれの優勝チームで学生クラブ日本一を戦う
クラブユース交流試合（年末年始・予定）
・期日・場所未定
・クラブ組織のユースチームの交流試合をトライアルとして実施予定
2. 女子ラグビーの推進
4月10日強化練習 辰巳の森G・ユース練習
4月15日、16日 2005 ARFU WOMENS SEVENS TOURNAMENT
シンガポールで開催 14日出発、17日帰国
4月17・18日 強化練習
4月29・30日、5月1日 強化練習
都内の予定
5月21・22日 強化練習 場所未定
6月4・5日 強化練習 場所未定
6月25日までに2006 Womens Rugby World

- Cupのアジア予選 開催国：タイ
6月 総会開催
7月16～18日 菅平合宿
8月17～22日 ユースNZ 遠征予定
9月～10月 関西大会、関東大会
10月 ユースセレクション
11月23日 女子ラグビー交流大会
(江戸川陸上競技場)
平成18年3月 セブンス大会 関西
平成18年3月 香港セブンス参加予定
その他
・毎月1回辰巳の森Gでユース練習会、強化選手練習会
・2ヶ月に一度 女子連盟会議開催

12. 強化委員会

- <目 標>
・2011年W杯に向けた「チーム」の基盤づくりの年とする
・感動を与える「ジャパン」への求心力を回復する
1. 2005年度日本代表チームの成績目標
RWC 2007アジア一次予選トップ通過
・アジア3カ国対抗で優勝・韓国・香港に勝つ
世界ランキングを15位以内に上げる(現在18位)
・ウルグアイ(15)に勝つ・スーパーカップ優勝・ルーマニア(13)・カナダ(14)アメリカ(16)に勝つ
世界トップグループに4トライ差までの戦いを行う
・アルゼンチン(8)戦において、スクラムの課題を抽出する
・アイルランド(5)戦では、ディフェンス力の課題を確かめる
・両チームとの戦いにおいて、攻撃における個々の力と課題、そしてジャパンとしての攻撃のデザイン(シナリオ)の方向性を検証する(世界ランキングは2005年2月18日現在)
 2. 強化基盤の整備
日本代表チームの強化およびプレーイング環境の整備と2007年W杯までの強化事業計画の立案
日本代表チームの国際競技力向上を確実に果たすトップコーチの養成システムの確立 コーチ委員会との連携
2007年および2011年の目標達成のためのエリート選手(日本代表候補選手)の発掘と育成・U17ブロックトレセン・エリートアカデミー 高校委員会・クラブ委員会との連携
トップリーグチームと密接に連携した代表チームづくり
エリートレフリーとの連携 レフリー委員会との連携
W杯ベスト8(2011年)に向けた情報・医科学

サポート体制の確立 医科学委員会との連携

3. スケジュール

日本代表

- ・ 3月15日～18日
メディカル&フィットネスチック
- ・ 3月21日～25日
セレクション合宿(「Jビレッジ」)
- ・ 3月29日～4月11日 フランス合宿
- ・ 4月11日～26日 南米遠征
ウルグアイ戦 16日
アルゼンチン戦 23日
- ・ 5月1日～16日アジア3カ国対抗
(RWCアジア一次予選)
香港戦8日ホーム・韓国戦15日
- ・ 5月19日～24日 強化合宿(「Jビレッジ」)
- ・ 5月25日～30日 スーパカップ2005
1回戦25日・決勝・3位決定戦29日
- ・ 6月5日～20日 アイルランド代表来日
第1戦21日・第2戦19日(両方テストマッチ)
- ・ 11月テストマッチ予定(対戦相手調整中)

日本代表A・B・学生代表

- ・ 4月20日～5月1日NZUシリーズ
A代表 24日(長居第2)
B代表 27日(秩父宮)
学生代表 5月1日(秩父宮)

U-19日本代表

- ・ 3月27日～4月19日
U-19世界大会(南ア)
10月 セレクション合宿
12月 強化合宿・U19アジア大会

セブンス

- 7月 強化合宿
- 7月 ワールドゲームス2005(ドイツ)
- 1月 セレクション合宿・強化合宿
- 2月 ウェリントン大会
- 3月 強化合宿・香港大会

13. 普及育成委員会

1. 事業方針

競技人口(小学生、中学生)年5%増員目標と共に競技継続を意識した普及活動に努める
組織的活動エリアを「プロモーション」「タグ・ラグビー」「ミニ・ラグビー」「ジュニア・ラグビー」「学校体育」の5部門に専念する
重点活動対象者を「若年層(年中・年長・幼児)」「小学生」「中学生」の三世代とする
段階的指導体制の確立 スタートコーチ制度の確立と普及活動の実施。
トップリーグを通じてのアプローチ活動
サントリーカップおよび外部スポンサーを利用した普及育成活動の実施。
新スタートコーチ制度の推進と資格取得の義務

化の推進

2. 事業活動

<総務関連>

ラグビーカーニバルの再考・従来の形から基本に戻り「ラグビーの楽しさ」を伝えるイベント形式へ、現役日本代表選手・元日本代表・三地域代表が開催地に訪問してラグビー競技の基本とタグラグビーを通じて開催地の小学生・中学生との交流会を通じて普及活動を行う
「初めてラグビー教室」シリーズ・従来の首都圏開催から「トップリーグ」開催地での展開を図る

- ・ 関西地区5回九州地区2回での新規開催を計画これにより開催地ラグビースクールでの勧誘活動、三地域のキャラクターコーチ活用を図る

<学校体育関連>

文部科学省との連帯、平成12年9月13日文部省(当時)提出「スポーツ振興基本計画」の各施設に照らし合わせた事業にラグビー協会としてタグ・ラグビー普及について協力していく。総合型地域スポーツクラブの構築に向けての努力も合わせて行う

重点都道府県拠点へのタグ教材の提供

- ・ 4年～7年後に国体を控えた地域を拠点を考慮、なおタグ教材の提供に合わせて、有資格者地域スポーツ推進指導員の活用を考える
教員養成大学へのタグ教材提供
- ・ 教員養成課程で学習させることは、将来を担う子どもたちに夢を提供できると考えられる、またいまの子ども達に欠けているものを十分補える要素が多く、教育価値のあるスポーツとして普及させたい

<中学生関連>

ジュニア・ラグビーインストラクター研修会・全国指導者研修会に基づく、三地域別伝達講習会の実施は重要であり継続事業とする
三地域協会主催ブロック交流大会開催援助
全国ジュニア交流大会の継続と大会意義についての検討する

新スタートコーチ制度の導入

- ・ コーチ委員会との連携による、指導者全員に新スタートコーチ資格取得を義務付ける

<小学生関連>

ミニ・ラグビーインストラクター研修会&スクール指導者研修会・全国研修会に基づく、三地域協会別に開催・運営を継続事業とする
三地域協会ブロック交流大会援助

スクール生徒募集ポスター作成・配布

スタートコーチ制度の導入

- ・ コーチ委員会との連携による、指導者全員に新スタートコーチ資格取得を義務付ける

小学生指導者マニュアル「指導者の手引き」刷新
< タグ関連 >

タグ・ラグビーインストラクター研修会 & 各種
講習会の実施あたって講師派遣。

タグ・ラグビー指導マニュアル再販。

学校教育現場での普及活動

・各都道府県教育委員会への働きかけと同時に
ラグビースクール生徒の出身校への積極的な
「出前体験ラグビー教室」の展開

タグ・ラグビー用具セットの配布

< その他事業関連 >

普及育成活動のイベント会場他、地元の元日本
代表選手を活用して普及活動を広げていく

4. 小学生

ミニ・ラグビーインストラクター研修会及びス
クール指導者研修会を三地域別に開催・運営を推
進し、開催助成金を提供する

三地域協会ブロック大会への支援、従来の経済
援助の他地域密着型の人員派遣を行い、有料試
合前座にて「スクール交流」実施とゲーム観戦
行い有料試合来場者の増を図る

ミニ・ラグビーレフリーマニュアル作成、販売

5. タグ・ラグビー

タグ・ラグビーインストラクター研修会及び学
校指導者研修会を三地域協会別に開催・運営を
推進し、開催助成金を交付する

地域・公的機関との連携協力し運営。

教育機関との相互協力体制づくり

教育関係機関へのタグ・ラグビーを通じて「ラ
グビー競技」の3Kイメージを取除き「タグ・ラ
グビー」の教育課程での正課採用ロビー活動を
行う

スポンサードにより「冠大会」推進

タグ・ラグビー指導マニュアル作成・配布

6. その他事業関連

スクール誘致ポスター作成・配布

・47都道府県登録のラグビースクールへ配布し
勧誘活動を行う

ホームページ関連

・ホームページ利用したタグ用具貸出システム
の構築

14. コーチ委員会

1. 指導者育成

JRFUコーチ資格の義務化に伴う各種講習会の開催

強化コーチ養成講習会の開催

育成コーチ養成講習会の開催

スタートコーチ養成講習会の開催

トレーナー養成講習会の開催

各種講習会へのコーチ派遣

2. 研修会の開催

トップチームゲーム会議の開催

三地域トップチームゲーム会議の開催

トップリーグコーチ(I R B レベル4・補講)研
修会の開催

旧資格移行研修会の開催

セブンス指導者研修会の開催

3. コーチング研究

I R B トレーナー講習会への派遣

指導教材の開発(電子コンテンツ化)

4. コーチング出版関連

強化・育成コーチマニュアルの編纂

その他指導に必要なマニュアルの編纂

5. 会議運営

・運営委員会・小委員会の開催

6. 特別事業

J R F U コーチ資格の義務化に伴う各種事業

有資格者登録管理システムの確立

義務化関連事業の推進体制の確立

15. 医・科学委員会

当委員会はラグビーにおける競技力の向上と選手の
健康管理を含む安全対策について医科学的側面およ
び科学的側面からの支援を目的に、従来の医事部門、
アンチ・ドーピングおよび科学・情報部門に加えてト
レーナー部門を新設しそれぞれのアプローチにより
以下の事業を行う

< 医事部門 >

三地域協会および都道府県医務委員会間の整合性
をとりながら広範な医学的支援を行う。

三地域連絡協議会の開催

日本協会主催試合医務担当

日本代表チームメディカル部門担当(含む海外
遠征帯同ドクター派遣)

ジャパン ラグビー トップリーグ メディカル
コントロール部会担当

JOC、体協、J I S S との連携強化およびその
他必要な事業

具体的な取り組みについて

委員会・医事担当部門会議・三地域連絡協議会

医務担当・日本協会主催試合(主管協会と連携)

日本代表チームメディカル部門担当(含む海外
遠征帯同ドクター派遣)

ラグビーに関するメディカル関連情報提供(安
全対策マニュアルの作成および機関誌掲載等)

< トレーナー部門 >

日本ラグビー界におけるトレーナーの位置付けを
明確にするとともに人材の育成を行なう

人材育成事業(ラグビートレーナー育成)

強化委員会トレーナー部門担当

トップリーグメディカルコントロール部会との
連携強化およびその他の必要な事業

具体的な取り組みについて

トレーナーセミナーの開催

ホームページおよび関連機関誌を通じて医・科学情報の発信

教育・啓蒙関連資料の作成

<アンチ・ドーピング部門>

選手、コーチ、チームDr等関係者を対象にアンチ・ドーピングに関する十分な理解と認識をうべくドーピング検査および啓発・情報提供活動を行う

アンチ・ドーピング検査の実施

アンチ・ドーピング・セミナーの開催および情報提供活動

アンチ・ドーピング関連資料の作成

JADAとの連携およびその他必要な事業

その他必要な事業

具体的な取り組みについて

ドーピング検査

・競技会検査(テストマッチ・国内主要大会試合)および競技外検査

普及活動・セミナー開催・情報提供活動・関連資料の作成

DCO(ドーピング・コントロール・オフィサー)の養成

<科学・情報担当>

さまざまな視点から科学的なアプローチによるラグビーの分析および調査研究を行う

ラグビーの普及・育成に関する技術情報の研究
ラグビー科学研究16巻の発刊

JOC、体協、JISSとの連携強化およびその他必要な事業

<具体的な取り組みについて>

わが国のトップレベルのラグビーにおけるプレイスタイル、ゲーム展開、内容の検証

・日本代表(ユース含む)における国際試合におけるゲームについて様々な視点から検討
国内諸大会を様々な視点から分析検討し、今後の日本ラグビーの健全な発展について提言

・トップリーグおよび国内選手権における様相についての検討

ラグビー普及と強化について、フィットネスおよび形態学の観点より検討

・形態学の視点からラグビーラグビーの指導について検討

・間歇的劇運動におけるラグビー選手のフィットネスとパフォーマンスとの関連を分析

プレーの安全確保に関して、環境面とスポーツ傷害の関連についての健闘

・グラウンドコンディションとスポーツ傷害との関連性

国外のルール研究、指導法等について情報を分析

・RFULAWSLADORATORYの動向分析

・フランスラグビーの指導法に関する分析

16. 安全対策委員会

1. 安全対策委員会の開催 = 三地域別開催
2. 重傷傷害事故に対して追跡調査の実施
3. メディカルサポーター手帳カバーの増
4. 重傷傷害事故統計の継続処理
5. タックルの安全対策DVD作成(第2弾)
6. その他、安全対策の方向性、啓発活動

17. 事業委員会

1. 主催大会の事業・企画・運営に関する事項
観客動員のためのチケットセールスおよび諸政策の展開
スポンサー拡大の積極的なマーケティング活動
共催・協賛者との積極的な協力による活動
各メディアに対する放送権の販売促進
試合運営を円滑に進めるための諸施策の実施
大会・試合ごとに収支を明確にして、改善のための諸案を実施
協会ネットワークの構築
メンバーズ会員の増加
グッズ商品の検討、拡販
その他必要な事業
2. トップ・リーグの事業・企画・運営に関する事項
リーグの目指す、あるべき姿の達成に向けて施策の展開
日程・開催地の調整・決定・答申
観客動員拡大のための諸政策の検討・実施
主管地域協会・開催地協会との連携強化による各目標値の確保(観客動員・普及育成・強化等)
規約・大会要項等の見直し
参加チームとの定期的会議の開催
・レフリー・コーチ・運営等々に関する事項
その他必要な事業

18. マーケティング委員会

1. 長期マーケティング計画の策定
2. 新規スポンサー獲得のためのマーケティング活動
3. 獲得スポンサーのフォロー体制づくり
4. その他必要事項

19. W杯招致実行委員会

【事業の目標】

- ・2011年W杯日本招致を成功させるための事業
- ・招致成功のための内外の関係機関・団体等との連絡および協力に関する事業
- ・その他前条の目的を達成するために必要な事業

<活動内容>

- 入札文書(テンドャードキュメント)の作成作業
- ・平成17年5月13日にIRBに提出する(英文)

ロビイング活動

- ・ I R B 執行部への働きかけ
（必要条件の具体化）
- ・ I R B 理事国・理事への働きかけ
（情報収集・戦略構築・実行）

招致協賛企業募集活動

国内広報活動

- 政・官・スポーツ関連への働きかけ
- 視察の受け入れ準備

< 招致決定までのタイムライン >

- ・ 4月 I R B 理事会・豪州協会・アルゼンチン協会へのプレゼンテーション
- ・ 5月 I R B への入札文書の提出締め切り
- ・ 6月 W杯委員会より日本視察団来日
- ・ 7月～10月各国協会への最終プレゼンテーション
- ・ 10月 W杯委員会視察団が I R B に報告書を提出
- ・ 11月 I R B 理事会にて2011年 W杯開催国の決定